



森豪男「本の舟」 Hideo Mori: Boat of the Book

2017年6月14日|水|→9月2日|土|

開館時間:11:00~17:00 休館日:毎週月・火曜日・8月30日

森豪男の「本の船」

床には2mの船が横たわり、数隻の小さな船が壁に掛けられている。そして船にはそれぞれ本が載せられている。森豪男の船は停泊しているのでは無い。広い海原にまさに出て行こうとしている。荒波にもまれ、静かな海に行き、津波や見えざる災厄を乗り越えようとしているのだ。本という船乗りは時に、ジョゼフ・ケッセル、テオ・アングロブロス、大島渚、フランソワ・トリュフォーを名乗る。波音にかきけられるが、切れ切れにつぶやきが聞こえる。「騎馬の民」「ユリシースの瞳」「少年」「華氏451」と。本は人のメタファだけでは無く、言葉に転化し、映像に結びついていく。そのとき森豪男の記憶が船とともに動き始める。原風景が福島の港だったからだ。亡き父親の会話が甦り、海風に翻弄される本のページのように、時間と空間が行ったり来たりするのだ。どの船に乗ろうか。大きな船か、それとも小さな船か。

藪野健（府中市美術館館長）



森豪男

福島県生まれ。

小学生の時に阿部セキ、中学生では吉田富美、共に東京美術学校出身の画家に絵を学ぶ。吉田に造形法、父には船を造り上げているあらゆる素材と特徴を教えられた。

武蔵野美術学校、芸術デザイン科卒業後、彫刻家向井吉の七彩アトリエで FRP の家具、オブジェ、マネキン人形、店舗什器デザインを行う。七彩アトリエには、彫刻、絵画、陶芸、書道、建築、デザイン、写真、イラストレーションなどあらゆるジャンルの芸術家が入りしていた。マネキン人形の発表会では、桑沢洋子、森英恵がデザイン制作したオリジナル衣装をマネキンが身にまとい、大辻清司の撮影でカタログが制作された。アトリエでは彫刻家の毛利武士郎をはじめ、美術系学校出身者が創作活動を行っていた。ここでは、会社の仕事だけをして、自分の作品を制作しないことは許されない風潮であった。そのためほくは、自らのテーマによる作品制作を行うことになる。デザインとアートに挟まれながら、二つのゾーンに存在する多元的宇宙を泳ぐことになる。1976年スタジオピラミッド、その後デザインスタジオ MORI 開設。1983年から武蔵野美術大学芸術デザイン学科（空間演出デザイン学科）で教え、2010年退任、名誉教授。1995年、いわき市に「芸術とデザインの力を町に」を旗印に森美術館を開館、いわきデザイン会主催の「ムービー俳句・短歌」「芸術のちからを街へセミナー」「中尾幸世の朗読」「増田一真木構造塾」の定期開催、絵画、彫刻、写真、詩、現代アートの展示、コンサート、日本舞踊、民謡の公演、建築家、デザイナー、木工職人の講演などを企業や個人のサポートを受けて行う。

展覧会とプロジェクト

- 2005 「森豪男 三橋いく代 ある日青い空に向かって」ギャラリー ルーベイン
- 2006 「赤い家具」プラザ・ギャラリー
- 「森豪男 任昌愛 野村由多加 日差しの中の家具」INSA ART CENTER、ソウル
- 2007 「聖の空間と調度」スペース アルテマイスター、会津若松
- 2009 「森豪男 残像の家具」武蔵野美術大学美術館図書館
- 2010 「Bookcase for a Poet」『For the Literature of Mishima』発表
- 2014 「三月の雪」発表
- 2016 「深林」北川陽史・大田晃・樋口晃亮・西村碧・森豪男 森美術館、福島
- 本の舟シリーズ発表
- 2017 「HIDEO MORI: Away from Furniture, into the Time of Memory」刊行

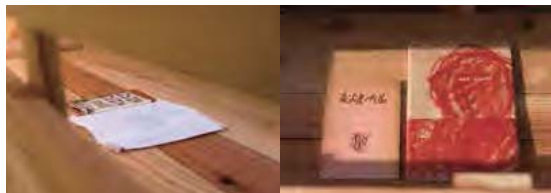


◎大田晃（上下）



Art Gallery 呼友館 KAWAGOE IMOZEN

〒350-1106 埼玉県川越市小室 15-1 いも膳
Tel・Fax:049-243-8243
<http://www.kawagoe.com/imozen/koyoukan.html>
東武東上線 川越市駅、西武新徳線 本川越駅よりタクシー、約10分



上◎樋口晃亮 下◎樋口俊夫

森です、展覧会を行っております。そして新しい作品集が 8月5日(土)にギャラリーに到着いたします。
作品をご覧頂き、出来たての作品集を手にとっていただければ幸いです。

展覧会場 小江戸川越のギャラリー、呼友館(コユー館) <http://koyoukan.blogspot.jp/>

会期中の森の在廊日、土(8月12日除く)、日、祭日、午後1時~3時。

作品集は会場で購入可。代金 3,500円

作品集のデザインは西中賢、品格と柔らかさと緊張感を自在に操る天才デザイナー。編集は映像作家の黒澤誠人、作品集は一冊の映画。

本書は、森豪男の最初の個展である「Another Space」(1971年)から最新作「Boat of the Book」(2016年)までの主だった作品、プロジェクトを網羅的に収録したはじめての作品集となります。7年の歳月をかけて制作された本書には、選りすぐりの作品が掲載されているのはもとより、文字のひとつひとつ、イメージと余白の関係にいたるまで、紙面全体に作家の透徹した美意識が表れています。さらに、森豪男と親交の深い方々がそれぞれの表現領域から森デザインを紐解く文章を寄せていただきました。現在も瑞々しいイマジネーションを持続する森豪男の作品性を総覧することができる本書を手にしていただければ幸いです。本書編集者 黒澤誠人 (Montage & Installation)

HIDEO MORI: Away from Furniture, into the Time of Memory (120頁フルカラー、一部ダブルトーン)

テキスト:

藪野 健 (画家、府中市美術館館長)

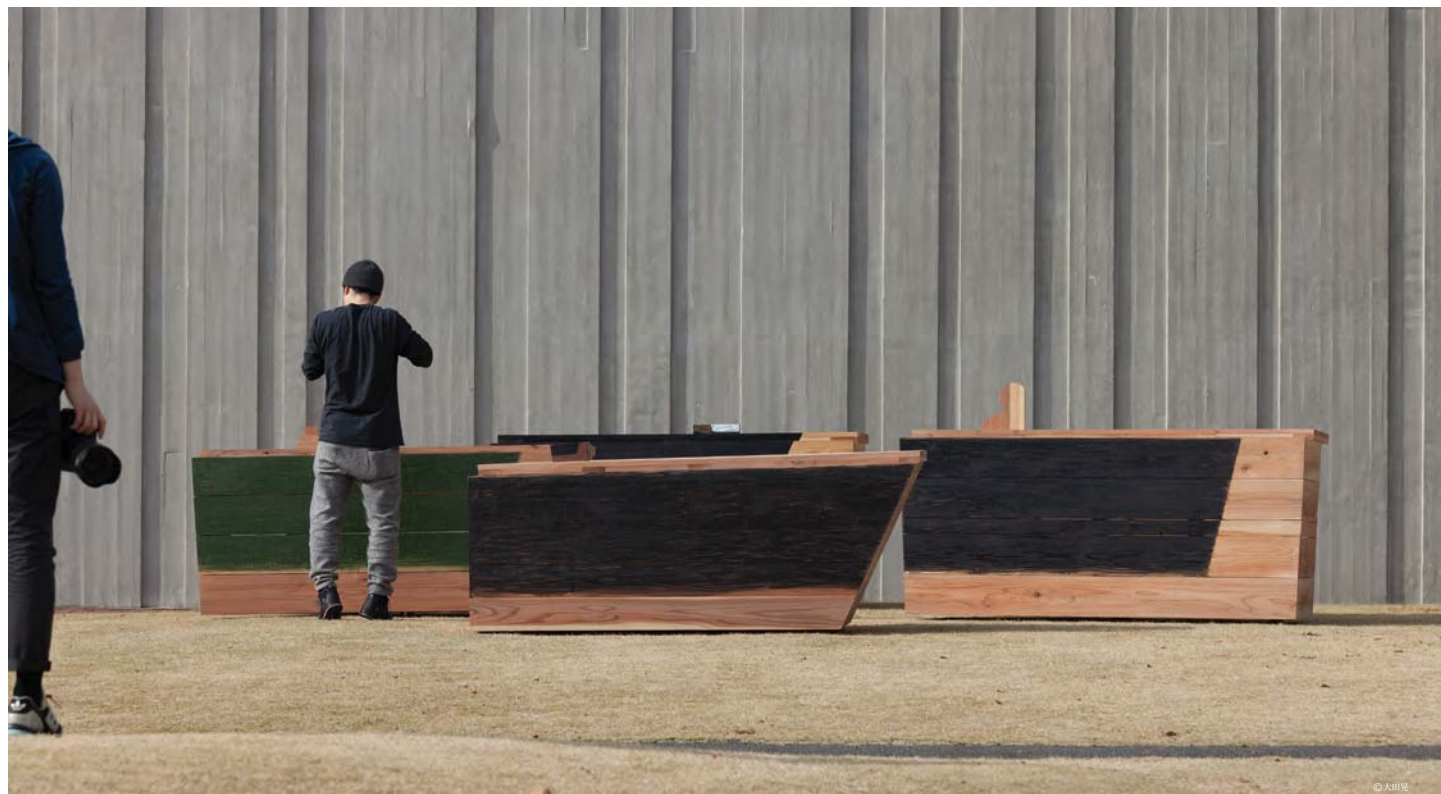
Corinna Rösner (Die Neue Sammlung チーフキュレーター)

Robert Seward (明治学院大学名誉教授)

板屋 緑 (建築家、武蔵野美術大学教授) *再録、英訳改訂版

新見 隆 (大分県立美術館館長、武蔵野美術大学教授) *再録、英訳改訂版

展覧会サポート 北川陽史



森豪男「本の舟」 Hideo Mori: Boat of the Book

Art Gallery 呼友館 KAWAGOE IMOZEN

2017年6月14日|水|→9月2日|土|

開館時間:11:00~17:00 休館日:毎週月・火曜日・8月30日

デザイン 藤澤孝一